

リスクアセスメントシート

- 虐待の発生を予防し、あるいは虐待のあった家庭を支援するためには、リスク要因を的確に把握するとともに、家庭の養育状況を把握して支援につなげることが必要
- 家庭を支援するためには、様々な機関が関与することが重要であるが、そのためには当該家庭の状況や問題点を共通理解するための共通のアセスメント指標が必要

東京都では、児童相談所と子供家庭支援センターの共通のリスクアセスメント指標「リスクアセスメントシート」を東京ルールで定め、活用している

アプリの開発

【令和2年度取組】

児童相談所と子供家庭支援センターが共通で活用しているリスクアセスメントシートのアプリを開発

- ・ より精緻なアセスメントを行うには調査項目数を増やす(※)ことが求められるが、同時に業務負担の増加が懸念
(※2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「児童虐待対応におけるアセスメントの在り方に関する調査研究」(参考資料2)による)
 - 入力容易な操作機能やわかりやすい画面とし、現場の負担を軽減するアプリを開発
- ・ 都と区市町村が切れ目なく連携し対応するため、リスク評価等の情報を迅速かつ的確に共有することが必要
 - リスク評価結果をデータ分析し、虐待のリスクを指標として見える化。都と区市町村間で迅速に情報共有

増加する虐待相談のリスク評価を適切に行うとともに、アセスメントシートを電子化・アプリ化することにより業務効率を向上

アプリ入力画面

児童の新規登録

児童番号 (受付番号)

性別
 女性 男性 不明

年齢
年齢を選択

学年等
学校等を選択 学年を選択

相談受付日
年/月/日

リスクアセスメントシート一覧

児童情報
児童番号 (受付番号) : 001
性別 : 女
年齢 : 16
学年等 : 小学5年生
相談受付日 : 2020/06/10
虐待の種類 : ネグレクト
経路 : 警察 (身柄通告)
主たる虐待者 : 実母

	記入日	記入者			
No. 1	2020/06/11	鈴木	閲覧	編集	PDF
No. 2	2020/07/11	鈴木	閲覧	編集	PDF
No. 3	2020/08/11	鈴木	閲覧	編集	PDF
No. 4	2020/10/11	鈴木	閲覧	編集	PDF

援助方針・支援方針
一時保護の有無
あり
援助方針・支援方針
児童相談所: その他

1人の児童につき、6回分のアセスメントが可能

児童情報

児童番号 (受付番号) : 0001
性別 : 男
年齢 : 16歳
学年等 : 小学5年生

虐待の種類・程度

1. 身体的虐待

虐待によると思われる医学的所見がある

- S 内臓損傷または出血・骨折・多発骨折
- S 眼底出血・網膜剥離・水晶体脱臼などの眼科所見
- S 鼓膜破裂・鼻中隔骨折などの耳鼻科的所見
- S 代理によるミュンヒハウゼン症候群(疑い含む)
- その他 リスクレベル選択 内容

虐待によると思われる行為がある

- S 頭部顔面・胸部・腹部または身体の複数箇所を殴る蹴るする行為
- S 熱湯をかける、溺れさせる、首を絞める、鼻と口をふさぐ、布団蒸しなどの行為
- S 拘束・縛り付け・逆さ吊り・一室への閉じ込め・長期外出の禁止などの行為
- S 熱中症や低体温症など子供が危険にさらされる戸外への意図的な締め出し行為
- S 道具を使った体罰または暴力行為(外傷の有無や軽重を問わない) ※特徴的な形状の創傷(帯状痕、二重条痕等)がある場合は、道具を使っている可能性が高い
- S 乳幼児を激しく揺さぶる行為(Shaken Baby Syndrome / Abused Head Trauma 等疑いを含む)
- その他 リスクレベル選択 内容

詳細な内容から選択することができる

リスクアセスメントシート一覧

児童情報
児童番号 (受付番号) : 0001
性別 : 女性
年齢 : 11歳
学年等 : 小学2 (5年)

相談受付日 : 2020/08/28
虐待の種類 : ネグレクト
経路 : 児童相談所連絡
主たる虐待者 : 実母

援助方針・支援方針の入力

一時保護の有無
 あり なし 未定

援助方針・支援方針
児童相談所
 児童福祉施設入所
 家族
 児童福祉施設
 継続指導
 区市町村連絡
 区市町村委託
 緊急指導
 他機関あつせん
 その他
 市区町村ケース

市区町村
 児童指導
 継続指導
 他機関あつせん
 児童相談所連絡
 知的障害者福祉司・社会福祉士指導
 その他
 児童相談所ケース

アプリに入力した内容を反映したリスクアセスメントシートが出力される

